

# 3月大天体ショーが始まる

# プラネ新聞

発行所 岐阜市科学館  
〒500-8389  
岐阜市本荘3456-41  
TEL : 058-272-1333  
FAX : 058-272-1303



春本番が近づいてきていますね。しかしこの頃(3月中旬)夜8時の星空を見て

**「おうし」が笑ったあ？**  
**3月19日、火星と月とでおうしの表情を変える!!**

みると西半分にはまだ冬の星座がいます。でも東半分には春の星座がきていて、この後、ますます勢力を増し、冬の星座たちを西へ西へと追いやっていきます。そんな冬の星座の中で、最後の火花を打ち上げるかのようにその表情が変わる星座があります。おうし座です。黄道12星座(太陽の通り道)にかかっている12の星座(のこと)の一つとして大変なじみの深い星座ですね。星座絵を見てみるとすぐ東側にいるオリオンと今すぐにも戦うかのような勇ましい姿をしています。ところがこのおうしの勇ましい表情が変わるのです。正確には変わるように見えるのです。一体どういこうとでしよつ。



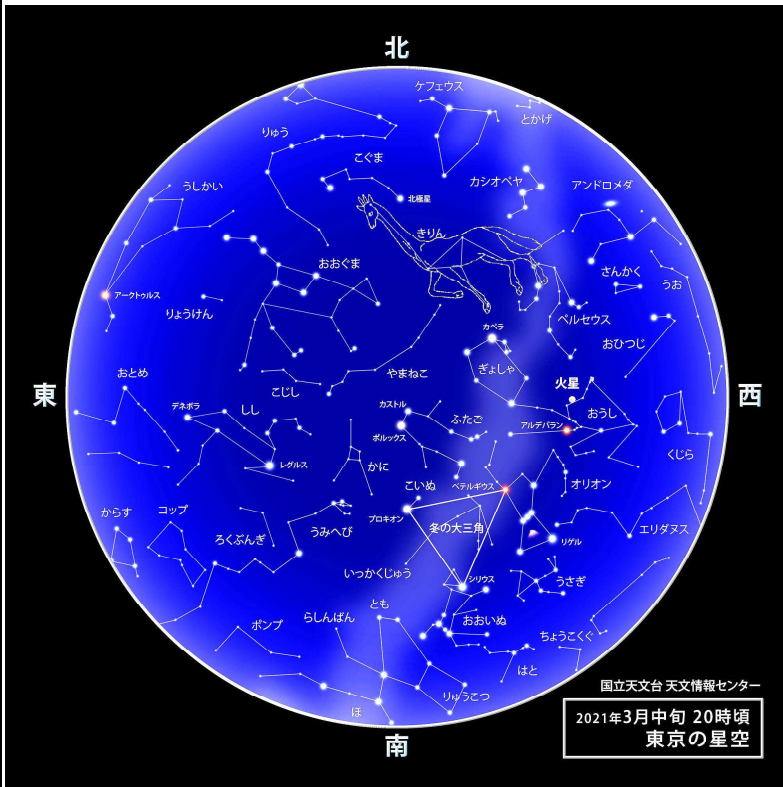
今回は素晴らしい展示物の紹介です。フェアリングです。この曲面の直径が実際のロケットのフェアリングと同じ大きさであること、また、はやぶさ2を打ち上げたロケットに使用された**フェアリングの実物の一部**が、ここに展示してあることなどわからないまま通り過ぎていく方が多くいます。実物を見られる機会はありませんよ。是非、実物を見て宇宙を実感してください。

**「フェアリング」**  
人気のない展示物の紹介

みなさん、3月19日午後8時、西の空に注目してください。微笑んでいるおうし座を是非ご覧ください。

います。そのおうしの左目辺りには赤い惑星とも呼ばれている火星が近づいていくのです。この火星は昨年10月6日に地球に最接近しましたね。その時の光度は2等級にもなり、一際明るく見えました。今でも1等級も有り、一等星の明るさを保っています。その火星とアルデバラが共演をし、まるで怒っているかのように両目を充血させています。そこに3月19日には月齢6の月がこのおうしの口の辺りにやって来ます。月齢6といえば、三日月が少々太った弓なりの月で、これがやって来ることで表情が変化するので。図をご覧ください。どうですか。戦おうとしていた顔が微笑んでいるように見えませんか。口元一つでこれだけ表情が変わって見えるのですね。

## きりんがくるー!



「NHK麒麟がくる」の麒麟ではなく、きりんの話。目立たない星座シリーズ第5弾、今回はきりん座です。目立たないのもそのはずですが。そもそも、この星座は星座がなかった場所からつくられた星座だからです。目立つ星があればその昔からその場所にはなにか他の星座が作られていたはずですが。つまり非常に見つけにくいのです。それでも見つけ方をお話します。ぎよしゃ座のカペラとこぐま座のポラリスを結んだ線上にこの星座はあります。おおよそ見当がついたら、縦に4つの星が並んでいるのがわかります。これがき

りんの首にあたります。そこからペラよりも三角形がみつかります。そこがきりんの胴体です。でも、いづれも4等星以下の暗い星ばかりですから、よほどくらい場所へ行かないとわからないかも。ところで元々はきりんではなく、らくだだったのです。1600年前半、ドイツの天文学者パルチウスによって制定されたときには、旧約聖書に登場するらくだを記念してつくられたのでした。ところがその後に出版された星図に誤りがあってきりん座になったと言われています。ですから、新しい星座なので、神話などはありません。どうですか。このようにスポットがなかなか当たらない星座に目を向けるのもいいでしょ。

国立天文台 天文情報センター  
2021年3月中旬 20時頃  
東京の星空